

# 生活と結びつけた素材の開発「科学的な見方，考え方で生活事象を見る素材」

多久地区 納所小学校 秋次裕輔

## 1 素材の紹介

水蒸気としてすぐに思いつくものとして，やかんで湯を沸かし，注ぎ口から白い水蒸気が出ていることをイメージすることが多いと思います。それ以外となると電気ポットの水蒸気等がイメージできるでしょうか。その中で「加湿器」と答える児童がいると思います。しかしながら，「加湿器から出てくる白いもの」＝「水蒸気」ではないようです。



噴き出し口から出る白いもの

## 2 関連する学年と単元

第4学年「金属，水，空気と温度」：水の三態変化

第4学年「天気の様子」：水の自然蒸発と結露

## 3 素材について

一言に加湿器と言っても，大きく4種類の加湿方式があります。

加湿方式	白い物	加湿の方法	噴き出し口から出るもの
スチーム式	見える	ヒーターを使って水を沸騰させることでスチームを噴きさせる。	沸騰した湯（水蒸気）
ハイブリット式	見えない	スチーム式と気化式を組み合わせ，湿った風が出る。特に蒸気は見えない。	湿った風（水）
気化式	見えない	湿らせたフィルターを通して送風するタイプ。熱を使わないので，蒸気は見えない。	加湿された空気（水）
超音波式	見える	タンクの水を超音波の波動によって噴き出す加湿方式。	霧（水）

加湿器としてイメージされるものは，スチーム式と超音波式の2種類であり，「白いもの」＝「水蒸気」という概念が当てはまる物はスチーム式のみです。身近にあるものを学習したことを通して見直し，理解を深めることができるのではないかと思います。



超音波により噴き出される霧

### 【参考資料】

ECナビ [http://kakaku.ecnavi.jp/compare\\_guide/humidifier/#content1](http://kakaku.ecnavi.jp/compare_guide/humidifier/#content1)